

エコ新田「みらい」

発行元・ URL : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~NITTA-MIRAI/>

発行責任者 西村 豊

あいおいニッセイ同和損保より寄付金を寄贈される。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：鈴木 久仁）は環境保護活動の一環として、ペーパーレス化につながる Web 約款を導入し、紙資源の節約を推進しております。

今般、この Web 約款の主旨に賛同し、ご選択いただいたお客さまの件数に応じて、国内外で森林保全活動を行っている「more trees」および地域に密着した環境保護活動を行っている NPO 団体に、弊社より寄付する活動を開始いたします。

弊社では、地域社会とのつながりを大切にする「地域密着」を行動指針として掲げており、全都道府県に所在する地域 NPO 団体への寄付を行うことで地域社会における環境保護活動の一助となることを期待しております。

（同社のホームページから引用）

NPO 法人新田環境みらいの会は寄付対象の NPO 団体に選ばれ、今回太田市で開催された夏の節電対策セミナー会場にて、寄付金の寄贈式が行われ、高井理事が鈴木社長から目録を頂きました。これを励みに更に地域の環境保護活動を進めていく所存です。



あいおいニッセイ同和損保社長より表彰を受ける
NPO 法人[新田環境みらいの会] 高井理事



緊急節電対策セミナー
株式会社イナリノ総研・コンサルタント岩崎講師

緊急節電対策セミナーの内容

この度東日本大震災で、東京電力・東北電力による電力供給量の減少により、産業界は勿論のこと、一般の国民も電力の大切さを再認識する為に、節電の必要性を強いられております。企業・一般家庭での緊急節電の取り組みを教えて頂きました。政府が発表した需要抑制目標 15% を達成するために、会社では大口契約、小口契約、家庭では、一人一人の知恵と心構えで節電活動に参加できるものです。「春夏秋冬」時期的な時間帯、週間帯、一日の時間帯の電気使用量を見直し、有効に使用するのがこれからの節電の課題という事です。昼の多く使用されている時間帯の電気を、夜の時間に移す工夫、土日の電気を平日に使用する工夫によって、毎日の電気使用量が平均的になり有効活動できるという事です。限られたエネルギー、みなさんの家庭でも工夫次第で節電できます。頑張って節電に心がけましょう

「長溝湧水地」に看板設置

H23年8月28日

NPO法人「新田環境みらいの会」は、新田湧水群の一部と記録され、現在伊勢崎市に位置する「長溝湧水地」に伊勢崎市の承認を頂き、現地の除草及び看板設置を実施しました。

平成23年8月23日（日）

現在地 伊勢崎市境北部工業団地東

現地整備と看板設置



長溝湧水地跡の現状



除草作業にて現状確認



設置団体表示



看板設置作業



長溝湧水地跡看板の設置状況



看板設置みなさんお疲れさんでした。

グリーンカーテンの実施状況

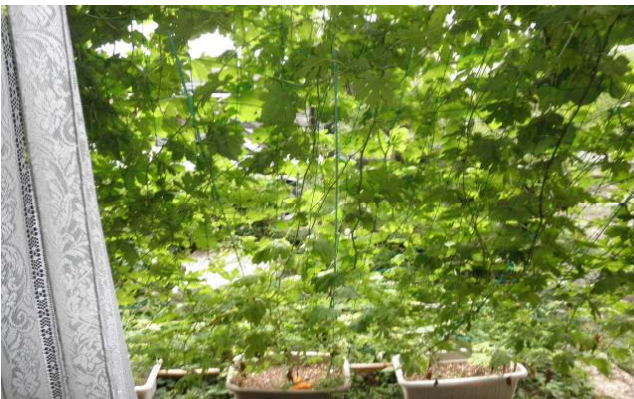
今年の夏は猛暑続きで、皆さん体調いかがでしたか？3月11日東日本大震災にて、原発問題で電力不足は勿論のこと改めて電気の必要性と、節電の大切さを味わった夏でした。4月26日の講習会で頂いた、ゴーヤの種子を育て節電対策に貢献しました。育苗からの会員の実践を紹介いたします。



発芽率70%貴重な苗木



ゴーヤの苗は見事に育ち沢山の実を結びました。



部屋の中から見ただゴーヤカーテンの様子



食べきれない程収穫できました。



散歩中に見かけた緑のカーテン



ゴーヤとアサガオのカーテン

当会では4名が群馬県地球温暖化防止活動推進員に任命されています（西村、神岡、小保方、深澤）

9月度生品小学校土曜スクール開催

期 日 9月10日(土)
開催場所 太田市・史跡金山城跡

計画では「子供のくに」で勉強会の予定でしたが、当日は当所の行事があり、金山ガイダンスセンターの見学と金山見学に変更致しました。ガイダンスセンターではスライドにより金山の歴史や、春夏秋冬の植物や、生き物の勉強をしました。

ガイダンスセンターで学んだ後、モータープールから山頂までの見学を行いました。暑い天候の中で、話題の熱中症も心配しましたが、子供たちは、元気に金山散策を楽しんでおりました。



金山資料館で体験学習をする子供たち



資料館でお勉強中の子供たち

平成23年度群馬県文化資産発掘・活用事業実施

群馬県では身近にある文化資産を活用して文化活動を初め、群馬県を訪れる沢山の人に「ぐんまの魅力」を情報発信する目的で「文化資産発掘・活用事業」の企画を募集しました。

NPO法人新田環境みらいの会ではこの事業に応募し採択され、下記事業を実施しました。

事業の目的：

地元の貴重な文化資産であり、群馬県で唯一「ため池百選」に選ばれた「妙参寺沼」や史跡「矢太神沼」等の新田湧水群を多くの人に知ってもらい、地域の活性化を図るとともに、県内外からの見学者を増やす。

I. 矢太神沼とホタルの里公園水路の整備作業

期 日 7月16日（土）

開催場所 矢太神沼～ホタルの里公園水路

毎年恒例の矢太神沼からホタルの里公園の水路の除草、清掃活動が行われました。矢太神沼は国の史跡に指定されている為に太田市文化財課の職員も立ち会い約100人の地元の人に参加しました。普段から農作業等に従事している人が多く約2時間で見違える程きれいになりました。

当日はNPO法人新田環境みらいの会の会員も6名が参加し、湧水地紹介のDVDの撮影も行われました。

*当地は生物多様性の守り手団体（NPO法人新田環境みらいの会）の活動フィールドに指定されています。

II. 湧水地紹介のDVD作成

構成

- ① 大間々扇状地翼端に分布する湧水群の成り立ち。
- ② 湧水のめぐみと人々のかかわりの歴史。
- ③ 現存する湧水の現状と保全活動。
- ④ 後世に残すことの意義

III. 講演会と見学会

期 日 9月17日（土）

開催場所：綿打行政センター、矢太神沼

① 講演会

講師：澤口 宏（群馬地名研究会会長）

講演内容：大間々扇状地の湧水について

群馬地名研究会や大間々扇状地研究会会長を務め、新田地域の湧水も永年に渡り調査研究している澤口先生の講演で大間々扇状地や地下水の歴史、湧水がどのようにして沸き上がるかをわかり易く説明して頂きました。

② DVDの放映：IIのDVD放映

③ 湧水地の見学（矢太神沼、ホタルの里公園水路、妙参寺沼、重殿、通木）

個人で管理している「通木湧水地」では環濠屋敷のスケールの大きさに皆さん関心していました

景観パトロール

9月24日(土) 9時～12時

NPO法人「新田環境みらいの会」では、この度太田市の「景観ボランティア活動団体」に認定されました。早速新田地区ではどのような状況なのか、9月24日(土)初めてのボランティア活動として今回5名の会員で、木崎地区周辺の表示板、看板等を視察してみました。普段何気なく見逃している風景に、いつ頃設置したのか文字が読めないもの、消えているもの、壊れて意味をなしてないもの、その他いろいろ確認する事ができました。また、移動しながらクリーン作戦も行い有意義な活動と成りました。今後、巡回地域を換えながら活動内容を検討し輪を広げてまいります。



内容表示がはっきりしない看板。



錆ついて内容がさだかでない看板



クリーン作戦も同時におこないました。

*大田市の景観ボランティアに5名の会員が登録されています(小保方、深澤、椎名、小澤、山本)



景観視察を行った会員のみなさん。